

2026年7月28日「令和8年熊本地震」($M_J7.1$)の地震動

2026年7月30日作成
2026年8月10日更新

2026年7月28日16時27分頃、熊本県熊本地方で $M_J7.1$ の地震が発生した。この地震での最大震度は7(宇城市豊野町および氷川町島地)、北陸地方から九州地方にかけて震度6強～1を観測しており、気象庁はこの地震について「令和8年熊本地震」と命名している^{[1][2][3]}。

消防庁災害対策本部^[4]によると8月9日10時現在で死者39人、負傷者173人の人的被害が出ているほか、全壊699棟、半壊1045棟などの住家被害が出ている。また八代市の製紙工場の煙突崩落、嘉島町の商業施設の2階部分崩落などが報告されている。また、国土交通省^[5]によると、九州自動車道などの橋梁損壊、道路損壊や、八代港、熊本港の港湾施設の被害が発生している。

1. 地震の概要

気象庁地震火山部^[3]によると、発震時間は2026年7月28日16時27分頃、震源は熊本県熊本地方の深さ16km(暫定値)、地震規模は $M_J7.1$ (暫定値)、モーメントマグニチュード $M_w6.8$ と発表されている。震央位置を図1.1に示す。 $M_J7.1$ の地震の震央は2016年に発生した「平成28年熊本地震」のいわゆる本震(2016年4月16日 $M_J7.3$)の震央から約20km離れている。

発震機構は図1.2に示すように、東北東－西南西方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型であった^[1]。

国土地理院では図1.3に示すように、電子基準点データから得られた地殻変動を基に矩形の震源断層モデルを推定しているが、長さ30km超の断層面となっている^[6]。

一方、防災科学技術研究所では図1.4に示すように、震源インバージョン解析により震源断層のすべり分布を推定しており、長さ30km弱の断層面となっている^[7]。図には、平成28年熊本地震でのすべり分布も合わせて示されているが、今回の地震の震源域の北端付近は、平成28年熊本地震で活動した付近と重なっている。

今回の地震の震央域付近には日奈久断層帯や布田川断層帯^[8]が分布している(図1.5参照)。平成28年熊本地震では日奈久断層帯高野－白旗区間や布田川断層帯布田川区間が活動しているが、地震調査研究本部^[9]では、今回の地震について、「 $M7.1$ の震源断層は、日奈久断層帯の日奈久区間の北東部及び高野－白旗区間の一部に及んでいると考えられる」としている。表1.1に示すように、日奈久断層帯日奈久区間は30年以内の地震発生確率がほぼ0～6%と「我が国の主な活断層の中では高いグループに属する」と評価されていた^[10]。

2. 観測された地震動指標

気象庁^[11]により発表された震度分布を図2.1に、各地の震度階級を表2.1に示す。

現時点で公表されている防災科学技術研究所K-NET、KiK-net強震観測点^[12]、気象庁直轄の震度観測点^[13]、熊本県震度計ネットワークなど地方公共団体の震度観測点^[14]、港湾地域強震観測の強震観測点^[15]における強震記録から算定した地震動指標を図2.2および表2.2に示す。最大速度やSI値に着目すると、宇城市から八代市にかけて特に大きくなっている。

3. 代表的な強震記録

今回の地震で震度の大きかった5地点の強震記録を図3.1～3.5に示す。計測震度が最大となった宇城市豊野町(93025)では、最大加速度、最大速度、SI値も最大となっている。

氷川町島地(93057)や八代市千丁町(93055)では、周期1～2秒付近の周期帯が卓越した波形となっている。

なお、これらの5地点は熊本県の震度観測点での記録であるが、野津・長尾(2005)^[16]などの既往研究ではサイト増幅特性は評価されていない地点である。

4. 地震動の比較

今回の地震で震度7となった宇城市豊野町(93025)、氷川町島地(93057)について、過去の被害地震での代表的な強震記録(震度7相当である1995年兵庫県南部地震の大阪ガス葺合供給所での強震記録^[17]や平成28年熊本地震の益城町宮園震度観測点での強震記録^[14])との加速度応答スペクトル、速度応答スペクトルの比較を図4.1に示す。

加速度応答スペクトル(減衰5%)では、宇城市豊野町のNS成分は周期1秒程度以下で葺合供給所や益城町宮園を上回っている。一方、氷川町島地のEW成分では周期1.5～2秒程度で益城町宮園と同程度であり、NS成分では周期2～6秒程度で葺合供給所や益城町宮園を上回っている。

速度応答スペクトル(減衰20%)(SI値が最大となる方向)でも、宇城市豊野町は周期1秒程度以下で葺合供給所や益城町宮園を上回っている。一方、氷川町島地では周期2～5秒程度で葺合供給所や益城町宮園を上回っている。

震度観測点周辺の建物被害等との関係については今後検討する必要がある。

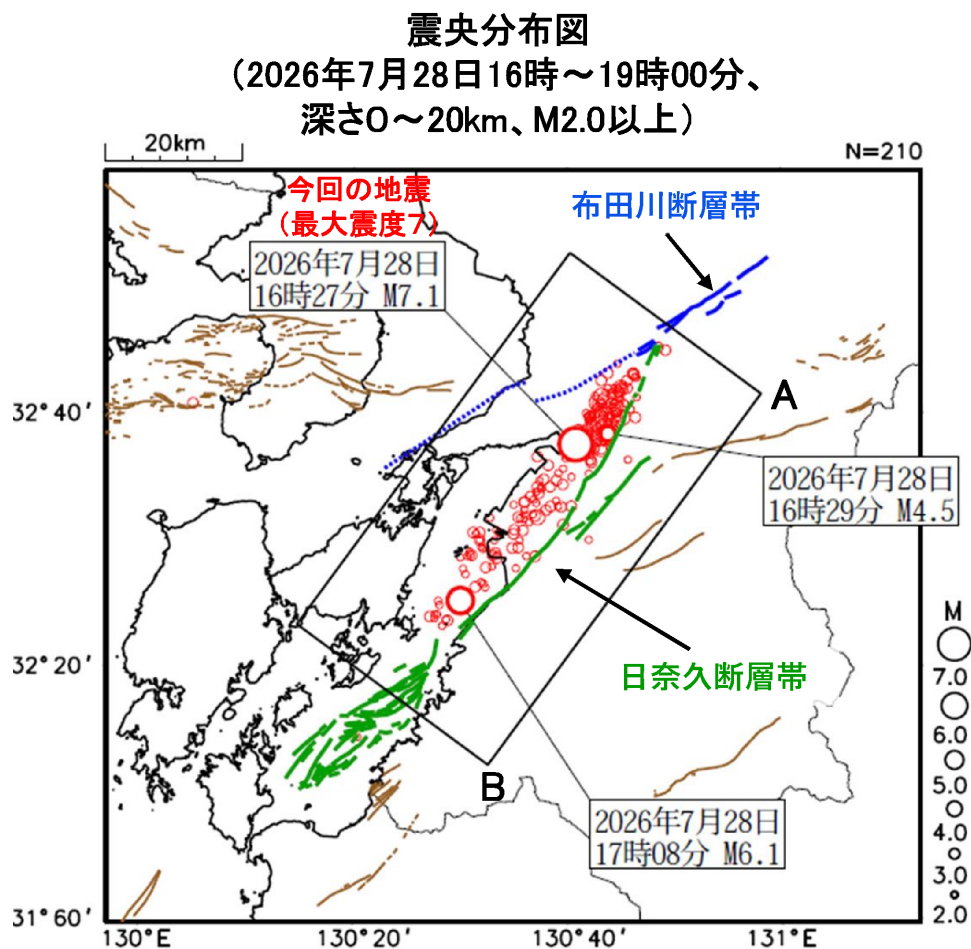
5. 地震動分布の推定

2. で示した、防災科研のK-NETとKiK-net、気象庁直轄観測点、熊本県震度計ネットワーク、港湾地域強震観測の波形データから算定した計測震度、最大速度(PGV)から、250mメッシュ分布の補間推定を行った。図5.1にJ-SHIS^[18]の微地形区分、図5.2に計測震度分布、図5.3に最大速度(PGV)分布を示す。手法は、2016年熊本地震・2018年北海道胆振東部地震等の既往地震で行ってきたもの^[19]と同様である。断層モデルは国土地理院によるもの^[6]を用いて、断層最短距離を算定した。Kriging法のトレンド成分には、司・翠川(1999)^[20]を用いた。表層地盤はJ-SHISの250mメッシュのVs30(深さ30mまでの平均S波速度)データ^[18]を用い

た。今後、表層地盤データについてはボーリングデータを活用した見直しを行い、その他の計算条件についても比較検討等を行い、精度の向上を図る予定である。

謝辞

防災科学技術研究所(K-NET、KiK-net)、気象庁、港湾地域強震観測、熊本県震度ネットワーク、大阪ガスの強震記録を使用しました。また地震動分布推定では、J-SHIS（地震ハザードステーション）の250mメッシュの表層地盤データを使用しました。記して謝意を表します。



震源は2026年7月28日16時27分(M7.1)の地震を除き未精査
丸の大きさはマグニチュードの大きさを表す。

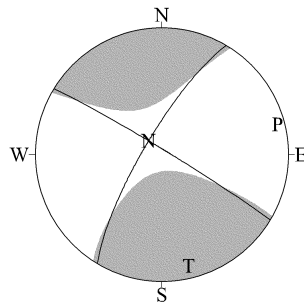
震央分布図中の青、緑、茶色の線は、地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。

図1.1 令和8年熊本地震(M_j7.1)の震央位置(気象庁地震火山部^[3]を引用)

東北東－西南西方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型

[CMT解(速報)]

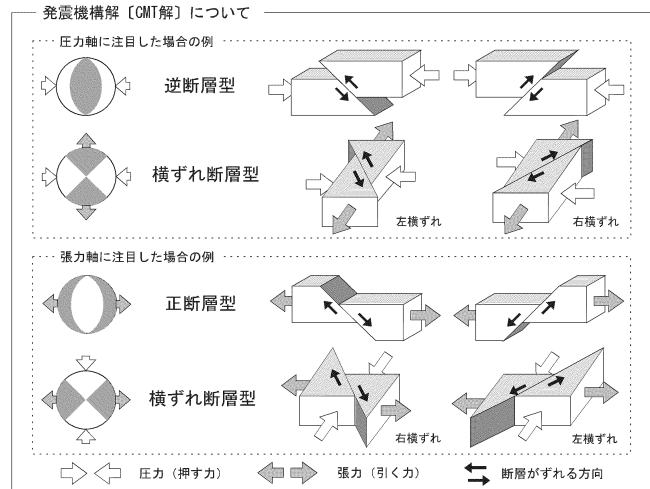
Mw=6.8



下半球等積投影法で描画
P：圧力軸の方向
T：張力軸の方向

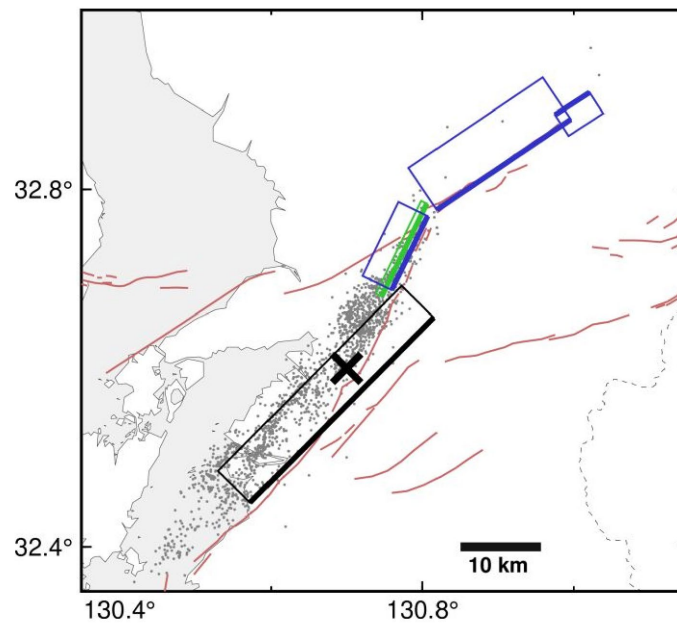
セントロイドの位置
北緯 32度33分
東経 130度42分
深さ 約10km

※セントロイドの位置とは、
地震の断層運動を1点で
代表させた場合の位置。



気象庁作成

図1.2 令和8年熊本地震 (M_j7.1) の発震機構解 (気象庁地震火山部^[1]を引用)



黒矩形：令和8年熊本地震 (M_j7.1) の震源断層モデル
緑矩形：平成28年熊本地震 (2016年4月14日 M_j6.5) の震源断層モデル
青矩形：平成28年熊本地震 (2016年4月16日 M_j7.3) の震源断層モデル

図1.3 国土地理院による令和8年熊本地震 (M_j7.1) の震源断層モデル (国土地理院^[6]を引用)

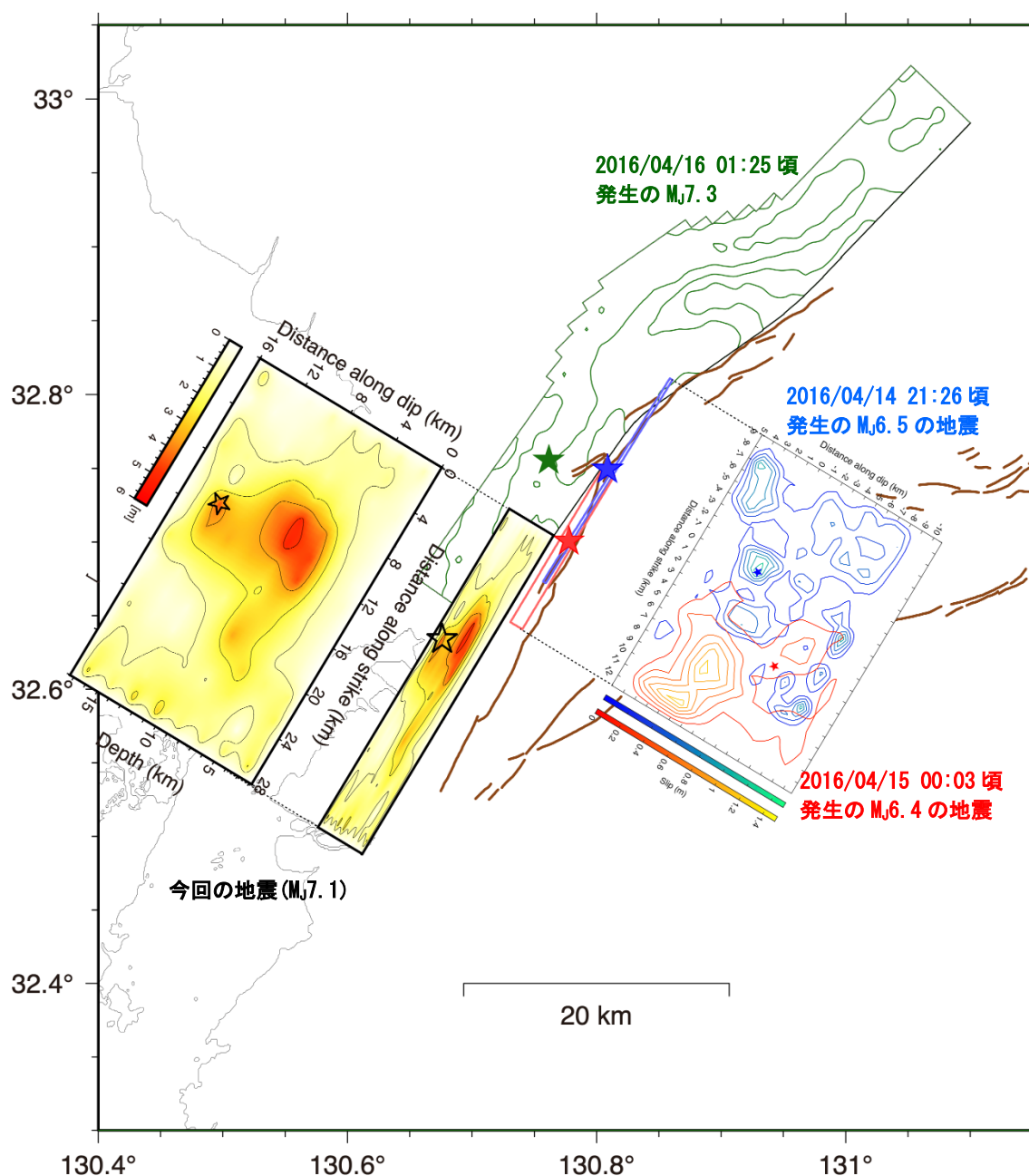
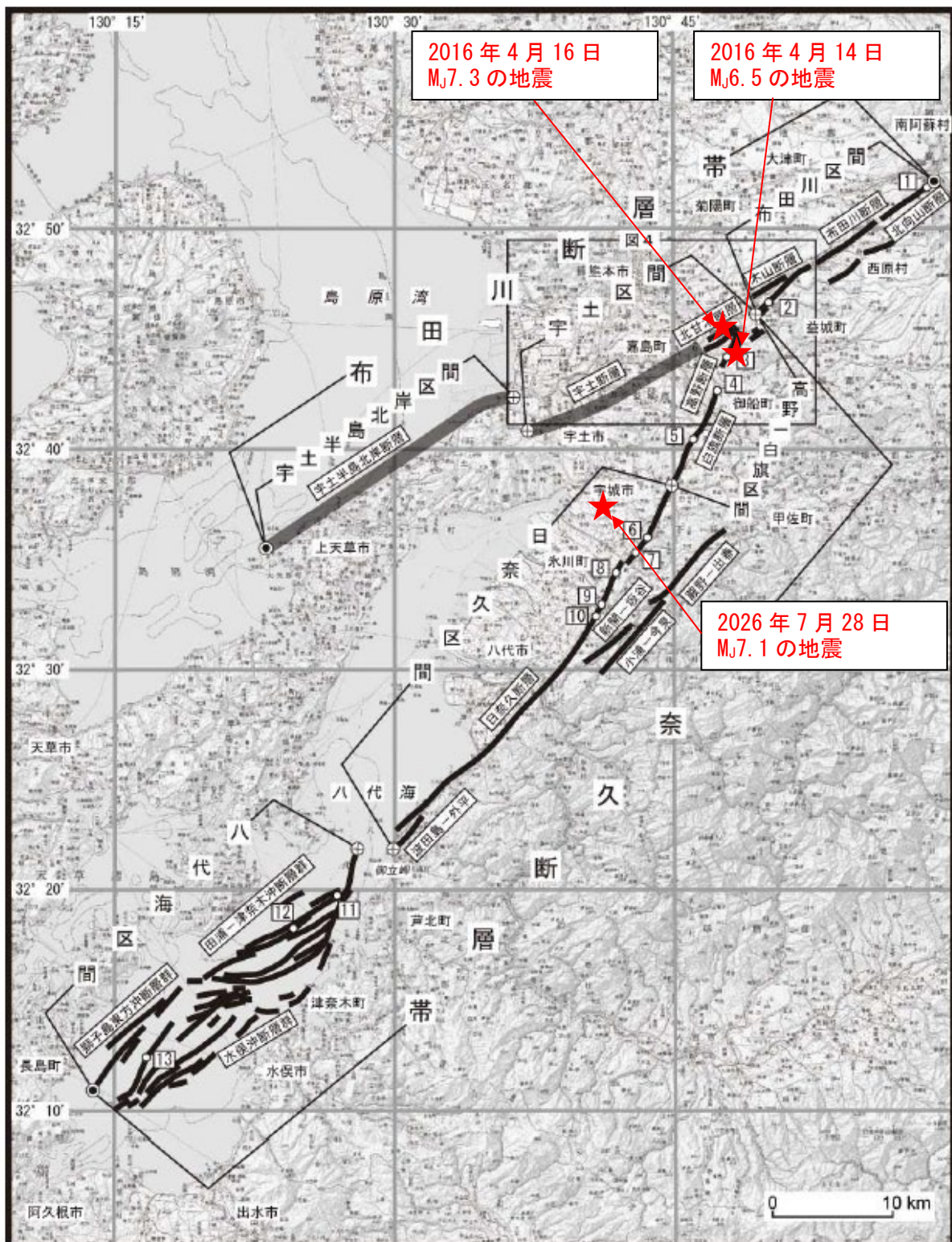


図1.4 防災科学技術研究所による令和8年熊本地震 (Mj7.1) のすべり分布
(柴田ほか^[7]を引用・加筆)



* 震央(★印)の位置は概略

図1.5 日奈久断層帯、布田川断層帯の位置(地震調査研究推進本部^[8]を引用・加筆)

表1.1 地震調査研究推進本部^[10]による布田川断層帯、日奈久断層帯の発生確率等
(確率は2026年1月1日時点)

都道府県	断層帯名 (起震断層/活動区間)	よみかた	長期評価で 予想した 地震規模 (マグニチュード)	我が国の主な活断層における相対的評価 (注4)			地震後 経過率 (注2)	平均活動間隔	
				地震発生確率 (注1)				最新活動時期	
				30年以内	50年以内	100年以内			
熊本県	布田川断層帯 ^(注38) (宇土半島北岸区間)	ふたがわだん そうたい	7.2程度以上	Xランク	不明 ^(注3)	不明 ^(注3)	不明 ^(注3)	不明 ^(注3)	不明
	布田川断層帯 ^(注38) (宇土区間)		7.0程度	Xランク	不明 ^(注3)	不明 ^(注3)	不明 ^(注3)	不明 ^(注3)	不明
	布田川断層帯 ^(注38) (布田川区間)		7.0程度	Zランク ^(注39)	ほぼ0% ^(注38)	ほぼ0% ^(注38)	ほぼ0% ^(注38)	ほぼ0~0.001 ^(注38)	8,100年~26,000年程度 ^(注40) 平成28年(2016年)熊本地震 ^(注42)
	日奈久断層帯 ^(注38) (八代海区間)	ひなぐだん そうたい	7.3程度	S*ランク	ほぼ0%~16%	ほぼ0%~30%	ほぼ0%~50%	0.1~1.6	1,100年~6,400年程度 約1,700年前以後、約900年前以前
	日奈久断層帯 ^(注38) (日奈久区間)		7.5程度	S*ランク	ほぼ0%~6%	ほぼ0%~10%	ほぼ0%~20%	0.2~2.3	3,600年~11,000年程度 約8,400年前以後、約2,000年前以前
	日奈久断層帯 ^(注38) (高野-白旗区間)		6.8程度	Xランク	不明 ^(注3)	不明 ^(注3)	不明 ^(注3)	不明 ^(注3)	不明 約1,600年前以後、約1,200年前以前
	緑川断層帯 ^(注35)	みどりかわだん そうたい	7.4程度	Zランク	0.04%~0.09%	0.07%~0.1%	0.1%~0.3%	不明	34,000~68,000年程度 不明
	出水断層帯	いずみだん そうたい	7.0程度	A*ランク	ほぼ0%~1%	ほぼ0%~2%	ほぼ0%~4%	0.3~0.9	概ね8,000年 約7,300年前以後、約2,100年前以前
	人吉盆地南縁断層	ひとよしぼんち なんえんだん そう	7.1程度	A*ランク	1%以下	2%以下	4%以下	0.9以下	約8,000年以上 約7,300年前以後、約3,200年前以前
	万年山-崩平山断層帯 ^(注41)	はねやま-くえ のひらやまだ んそうたい	7.3程度	Zランク	0.004%以下	0.008%以下	0.03%以下	0.4以下	約2,100~3,700年 13世紀以後

注38: 布田川断層帯及び日奈久断層帯については、これまで布田川・日奈久断層帯として、北東部・中部・南部に3区分して評価を行っていた(地震調査研究推進本部地震調査委員会, 2002)。地震調査研究推進本部地震調査委員会(2013a)は、その後に得られた新たな知見に基づき、布田川断層帯と日奈久断層帯に二分し、さらに布田川断層帯を布田川区間・宇土区間・宇土半島北岸区間、日奈久断層帯を高野-白旗区間・日奈久区間・八代海区間に区分して評価を行った。

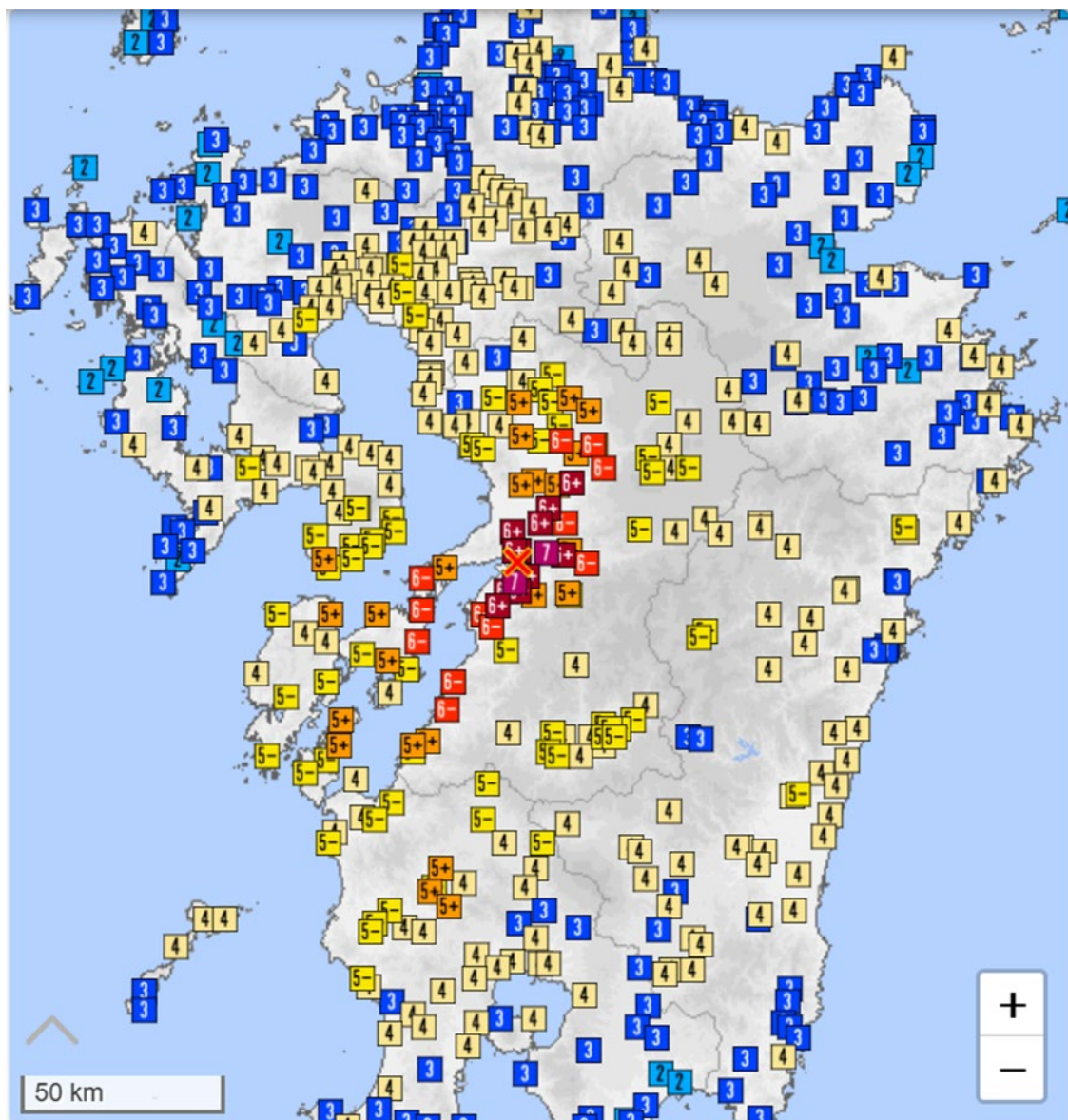
地震調査研究推進本部地震調査委員会(2002):「布田川・日奈久断層帯の評価」, 35p.
 地震調査研究推進本部地震調査委員会(2013a):「布田川断層帯・日奈久断層帯の評価(一部改訂)」, 66p.

注39: 布田川断層帯布田川区間については、平成28年(2016年)熊本地震で活動した(地震調査研究推進本部地震調査委員会, 2016ab)として評価を行った。

地震調査研究推進本部地震調査委員会(2016a):「平成28年4月16日熊本県熊本地方の地震の評価」(2016年4月16日公表)
 地震調査研究推進本部地震調査委員会(2016b):「平成28年(2016年)熊本地震の評価」(2016年5月13日公表)

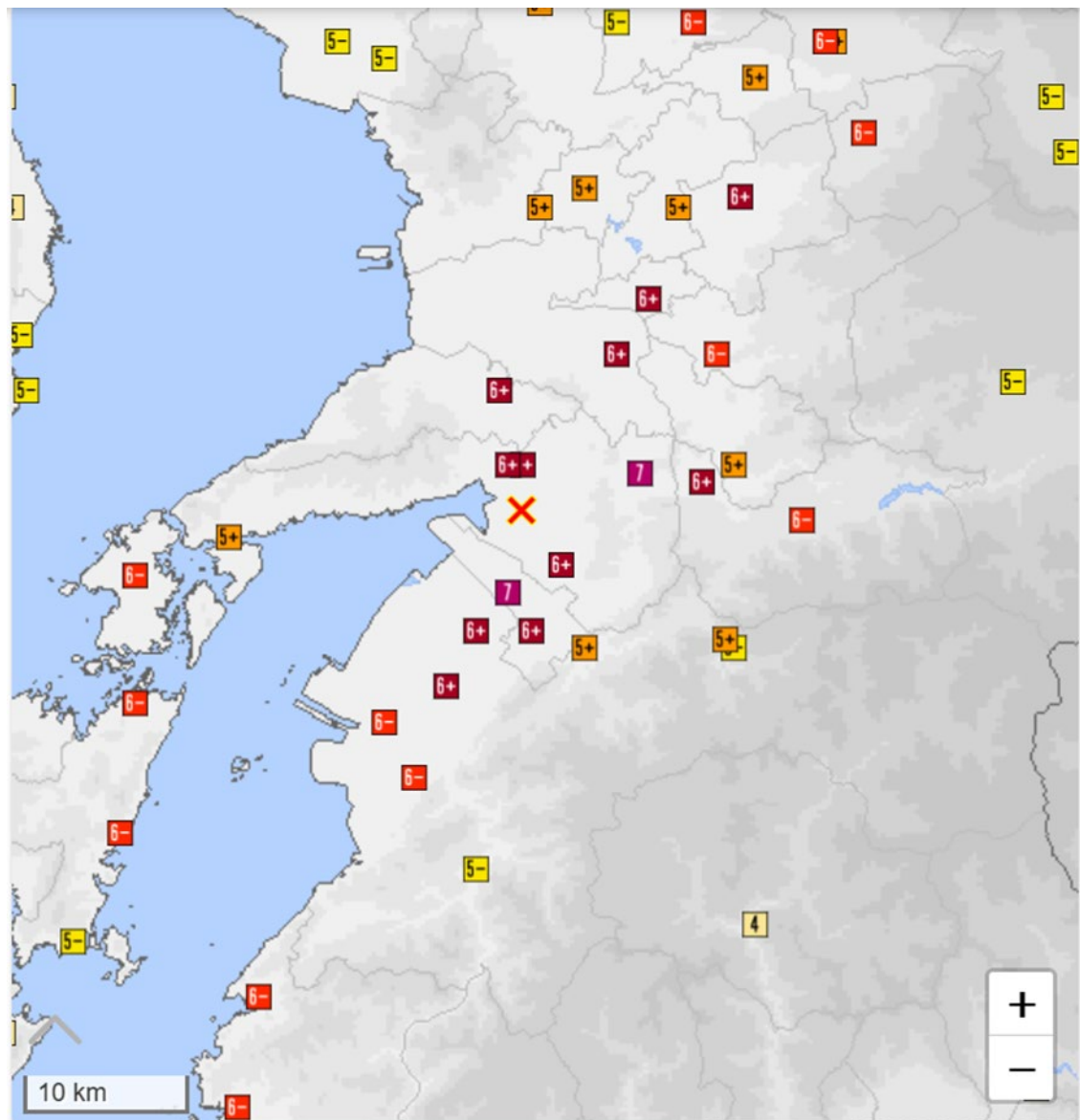
注40: 布田川断層帯布田川区間の平均活動間隔については、暫定的に平成28年(2016年)熊本地震発生前の評価(地震調査研究推進本部地震調査委員会, 2015)における値とした。

地震調査研究推進本部地震調査委員会(2015):「布田川断層帯・日奈久断層帯の評価(一部改訂)」, 6p.



- × 震央
- 7 震度 7
- 6+ 震度 6 強
- 6- 震度 6 弱
- 5+ 震度 5 強
- 5- 震度 5 弱
- 4 震度 4
- 3 震度 3
- 2 震度 2
- 1 震度 1

図2.1(1) 令和8年熊本地震(M7.1)の震度分布(九州地方)(気象庁ウェブサイト^[11]を引用)



- × 震央
- 7 震度 7
- 6+ 震度 6 強
- 6- 震度 6 弱
- 5+ 震度 5 強
- 5- 震度 5 弱
- 4 震度 4
- 3 震度 3
- 2 震度 2
- 1 震度 1

図2.1(2) 令和8年熊本地震(Mj7.1)の震度分布(震源域周辺)(気象庁ウェブサイト^[11]を引用)

表2.1 令和8年熊本地震(M_J7.1)の観測震度(震度5弱以上)(気象庁ウェブサイト^[1]による)

震度階級	県	震度観測点(*は気象庁以外の震度観測点)		
震度7	熊本県	宇城市豊野町*	氷川町島地*	
震度6強	熊本県	八代市千丁町*	八代市鏡町*	宇土市浦田町*
		嘉島町上島*	益城町宮園*	熊本美里町馬場*
		宇城市松橋町	宇城市不知火町*	宇城市小川町*
		氷川町宮原*	熊本南区城南町*	
震度6弱	熊本県	八代市平山新町	八代市新地町*	大津町大津*
		西原村小森*	御船町御船*	熊本美里町永富*
		合志市竹迫*	芦北町芦北	芦北町田浦町*
		上天草市大矢野町	上天草市松島町*	上天草市姫戸町*
震度5強	熊本県	八代市東陽町*	八代市泉支所*	山鹿市鹿央町*
		菊池市隈府*	菊池市旭志*	大津町引水*
		菊陽町久保田*	甲佐町豊内*	宇城市三角町*
		熊本中央区大江*	熊本東区佐土原*	熊本西区春日
		熊本北区植木町*	水俣市牧ノ内*	津奈木町小津奈木*
		天草市倉岳町*	天草市有明町*	天草市五和町*
	長崎県	南島原市加津佐町*		
	鹿児島県	長島町獅子島*	長島町伊唐島*	薩摩川内市祁答院町*
		さつま町宮之城保健センタ*	さつま町神子*	
震度5弱	熊本県	熊本高森町高森*	阿蘇市内牧*	南阿蘇村河陰*
		南阿蘇村河陽*	八代市泉町	八代市坂本町*
		玉名市横島町*	玉名市天水町*	山鹿市菊鹿町*
		山鹿市鹿本町*	菊池市泗水町*	菊池市七城町*
		山都町浜町*	合志市御代志*	和水町江田*
		人吉市西間下町	人吉市蟹作町*	あさぎり町免田東*
		あさぎり町岡原*	あさぎり町須恵*	多良木町多良木
		多良木町上球磨消防署*	湯前町役場*	山江村山田*
		水俣市陣内*	苓北町志岐*	上天草市龍ヶ岳町*
		天草市牛深町	天草市新和町*	天草市河浦町*
		天草市栖本町*		
	長崎県	諫早市多良見町*	雲仙市小浜町雲仙	雲仙市南串山町*
		南島原市口之津町*	南島原市南有馬町*	南島原市北有馬町*
		南島原市西有家町*	南島原市布津町*	南島原市深江町*
		南島原市有家町*		
	鹿児島県	阿久根市鶴見町*	鹿児島出水市緑町*	鹿児島出水市高尾野町*
		長島町鷹巣*	長島町指江*	薩摩川内市中郷
		薩摩川内市神田町*	薩摩川内市東郷町*	さつま町宮之城屋地
		湧水町吉松*	いちき串木野市緑町*	伊佐市大口山野
		伊佐市大口鳥巣*		
	福岡県	柳川市本町*	大川市酒見*	
	佐賀県	白石町有明*	神埼市千代田*	
	宮崎県	延岡市北川町川内名白石*	西都市聖陵町*	椎葉村総合運動公園*
		椎葉村下福良*		

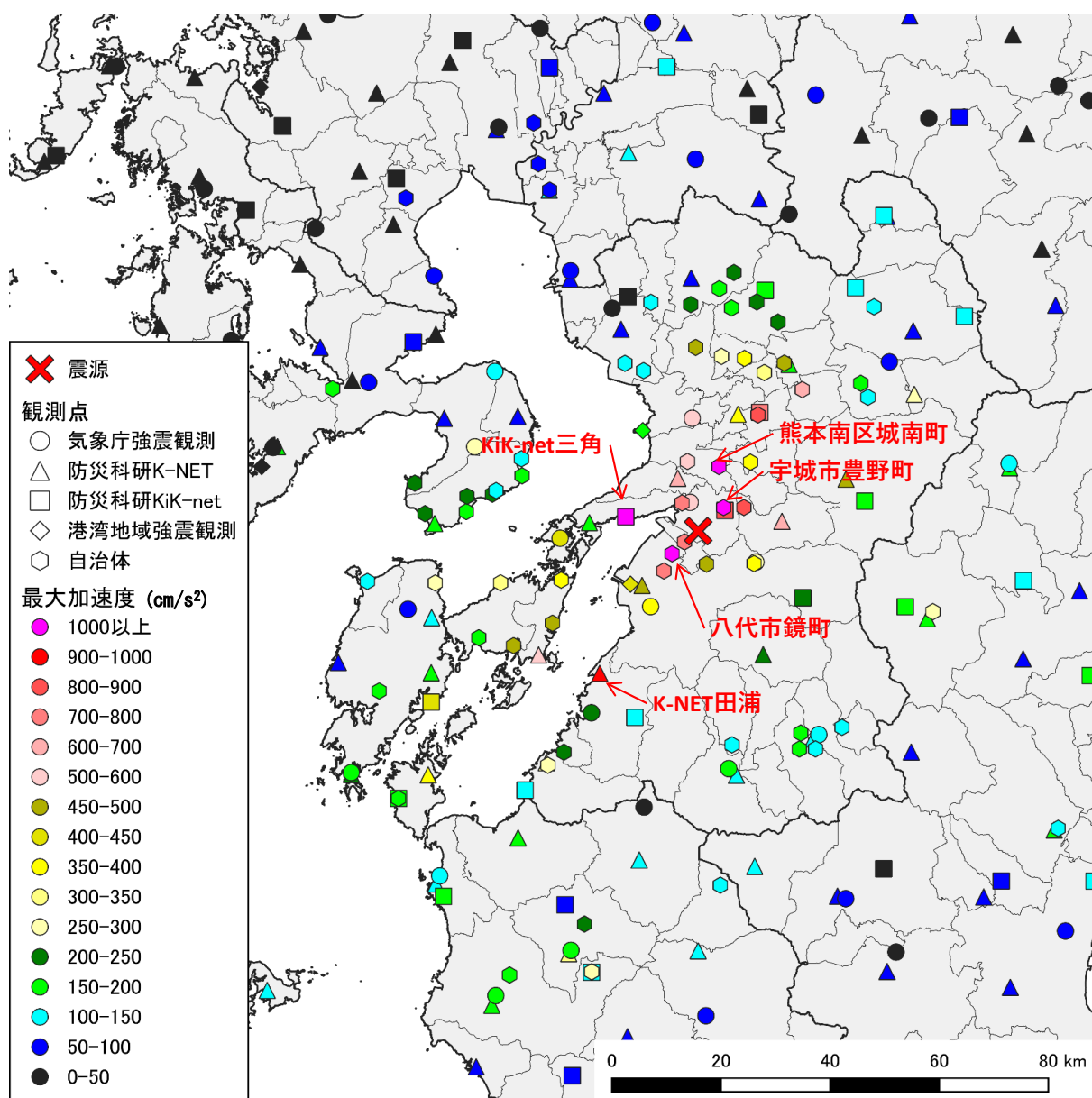


図2.2(1) 令和8年熊本地震(Mj7.1)の強震記録^{[12][13][14][15]}の最大加速度分布

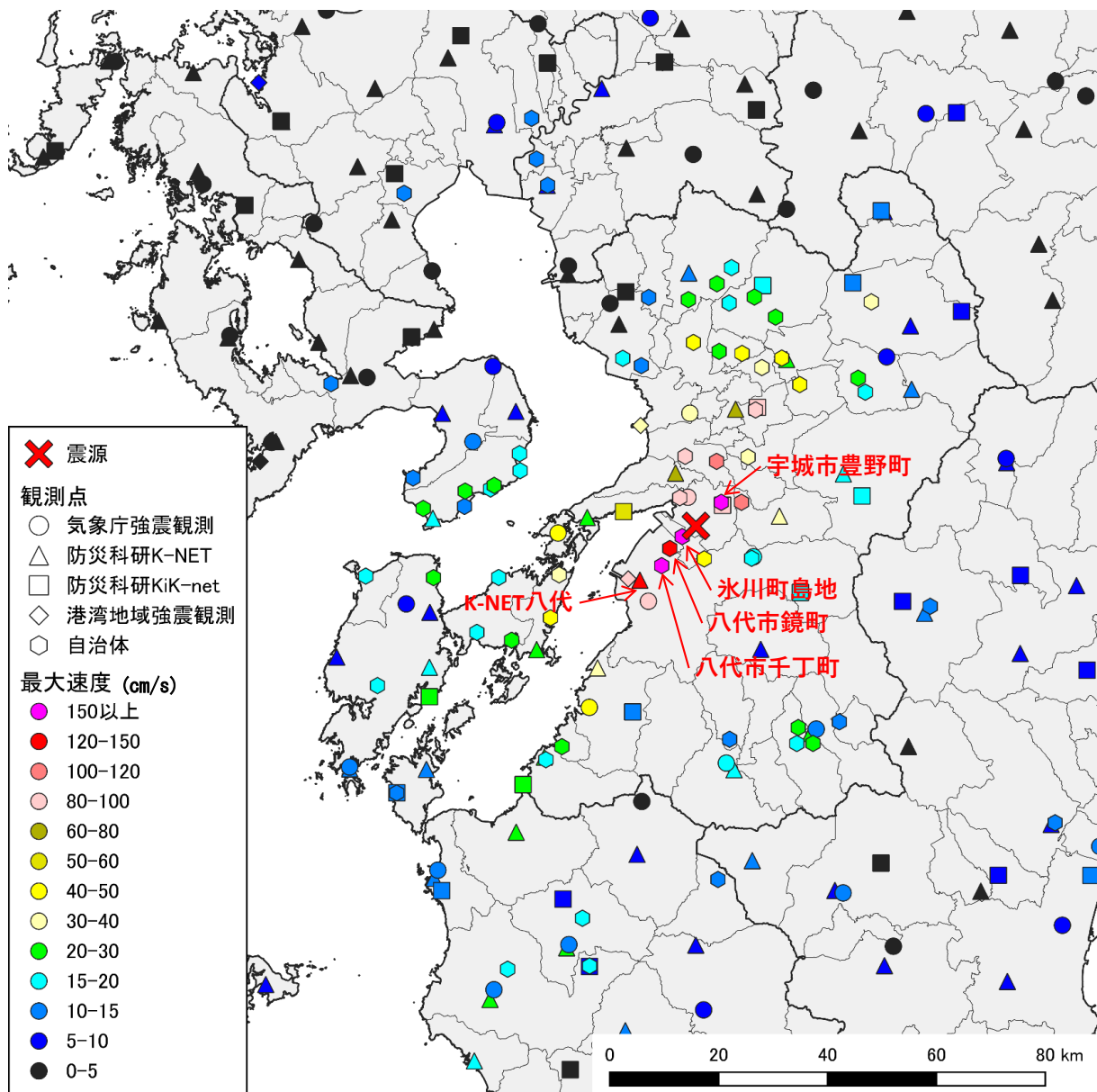


図2.2(2) 令和8年熊本地震(Mj7.1)の強震記録^{[12][13][14][15]}の最大速度分布

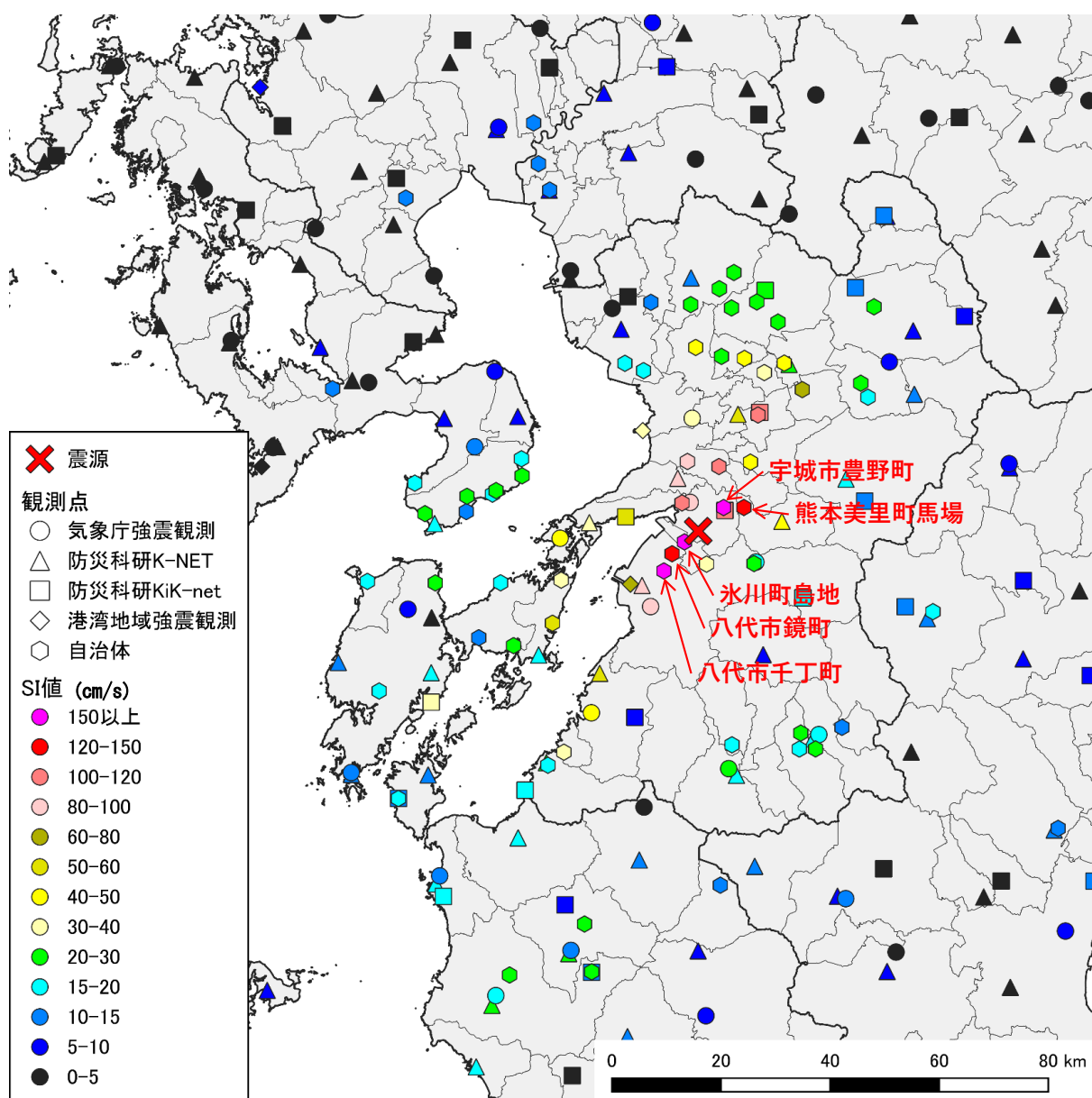


図2.2(3) 令和8年熊本地震(Mj7.1)の強震記録^{[12][13][14][15]}のSI値分布

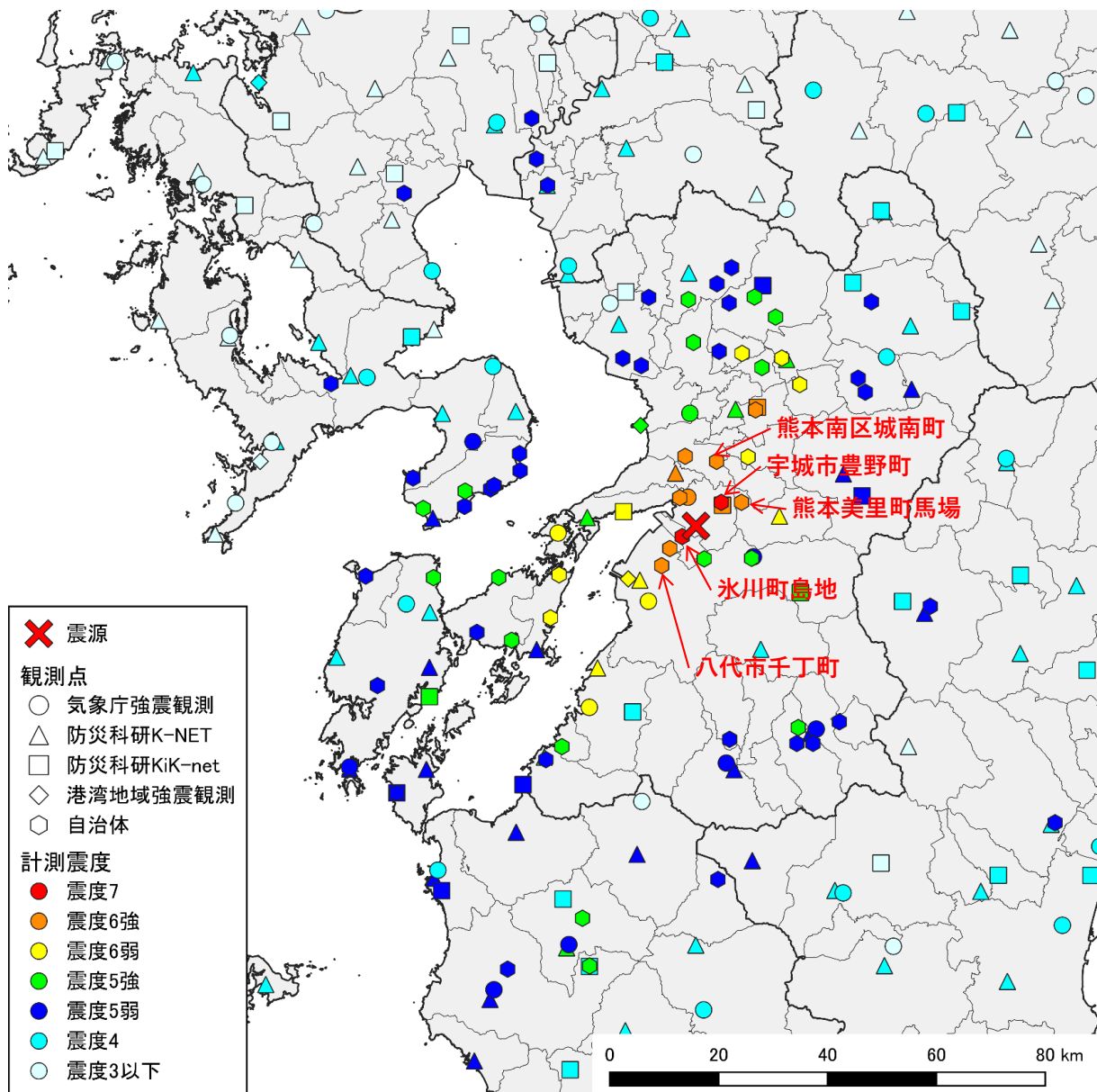


図2.2(4) 令和8年熊本地震(Mj7.1)の強震記録^{[12][13][14][15]}の計測震度分布

表2.2 令和8年熊本地震(MJ7.1)の強震記録^{[12][13][14][15]}の地震動指標(震度5強相当以上)

観測点 コード	観測点 名称	観測 機関	最大加速度 (cm/s ²)	最大速度 (cm/s)	SI値 (cm/s)	計測 震度	震度 階級
93025	宇城市豊野町	地方公共団体	2437.8	222.8	179.2	6.6	7
93057	氷川町島地	地方公共団体	747.5	162.8	177.6	6.5	7
93026	熊本美里町馬場	地方公共団体	813.2	114.4	136.9	6.4	6強
93055	八代市千丁町	地方公共団体	746.3	157.8	157.6	6.4	6強
93021	熊本南区城南町	地方公共団体	1650.8	107.0	119.3	6.4	6強
KMMH14	豊野	防災科研KiK-net	864.3	91.6	110.0	6.3	6強
93020	宇城市不知火町	地方公共団体	760.9	80.3	111.1	6.2	6強
93056	八代市鏡町	地方公共団体	1028.9	129.0	121.6	6.2	6強
KMMH16	益城	防災科研KiK-net	724.8	82.2	101.0	6.1	6強
42511	宇城市松橋町	気象庁	559.5	90.6	94.9	6.1	6強
93051	益城町宮園	地方公共団体	870.9	89.5	111.1	6.1	6強
93022	熊本南区富合町	地方公共団体	522.6	99.4	87.3	6.0	6強
KMM008	宇土	防災科研K-NET	668.5	71.3	82.0	6.0	6強
41509	八代市平山新町	気象庁	367.7	96.7	89.8	5.9	6弱
KMMH07	三角	防災科研KiK-net	1667.4	50.4	53.7	5.8	6弱
YTSR-C	八代-C	港湾地域強震観測	446.0	93.9	73.4	5.8	6弱
93048	西原村小森	地方公共団体	606.3	45.5	60.7	5.7	6弱
KMM012	八代	防災科研K-NET	482.7	129.0	92.0	5.7	6弱
KMM011	砥用	防災科研K-NET	665.9	38.1	44.6	5.7	6弱
42514	上天草市大矢野町	気象庁	428.2	41.2	48.0	5.7	6弱
93085	上天草市姫戸町	地方公共団体	452.2	48.6	51.2	5.7	6弱
KMM013	田浦	防災科研K-NET	951.7	36.2	59.7	5.6	6弱
93045	合志市竹迫	地方公共団体	396.2	43.6	49.4	5.6	6弱
93096	大津町大津	地方公共団体	459.3	42.2	48.2	5.6	6弱
42512	芦北町芦北	気象庁	241.1	46.9	46.1	5.5	6弱
93049	御船町御船	地方公共団体	390.1	39.7	46.1	5.5	6弱
93083	上天草市松島町	地方公共団体	353.6	32.3	38.1	5.5	6弱
93061	八代市東陽町	地方公共団体	480.5	41.3	36.1	5.4	5強
KMM006	熊本	防災科研K-NET	399.0	60.9	55.3	5.4	5強
47819	熊本西区春日	気象庁	544.1	30.0	39.4	5.4	5強
93040	熊本北区植木町	地方公共団体	456.6	40.8	43.8	5.4	5強
KMMH10	新和	防災科研KiK-net	441.4	24.1	31.6	5.3	5強
93044	菊陽町久保田	地方公共団体	312.6	35.3	36.4	5.3	5強
93091	天草市五和町	地方公共団体	256.7	27.7	28.1	5.3	5強
KMM010	三角	防災科研K-NET	198.1	27.0	33.7	5.2	5強
KMM015	水俣	防災科研K-NET	298.1	27.1	26.2	5.2	5強
93081	津奈木町小津奈木	地方公共団体	205.9	25.6	32.1	5.1	5強
93062	八代市泉支所	地方公共団体	354.3	20.0	23.7	5.1	5強
KMMT-C	熊本-C	港湾地域強震観測	182.4	39.1	30.5	5.1	5強
93042	菊池市旭志	地方公共団体	229.3	23.4	25.9	5.1	5強
KGS005	宮之城	防災科研K-NET	324.8	23.8	26.3	5.1	5強
93088	天草市倉岳町	地方公共団体	490.4	28.6	23.1	5.1	5強
96038	薩摩川内市祁答院町	地方公共団体	271.5	19.3	23.0	5.0	5強
92049	南島原市加津佐町	地方公共団体	225.0	21.3	24.5	5.0	5強
93084	天草市有明町	地方公共団体	325.3	18.2	19.9	5.0	5強
93017	菊池市隈府	地方公共団体	218.0	21.4	26.6	5.0	5強
96036	さつま町神子	地方公共団体	204.8	17.3	21.7	5.0	5強
KMMH09	泉	防災科研KiK-net	232.1	18.0	19.9	5.0	5強
KMM005	大津	防災科研K-NET	184.0	24.3	23.7	5.0	5強
93039	山鹿市鹿央町	地方公共団体	200.5	23.1	24.4	5.0	5強

* 最大加速度、最大速度は3成分合成、SI値は最大となる方向

* 熊本南区富合町は観測環境に異常が認められたことから、気象庁では観測震度は欠測扱いとなっている。

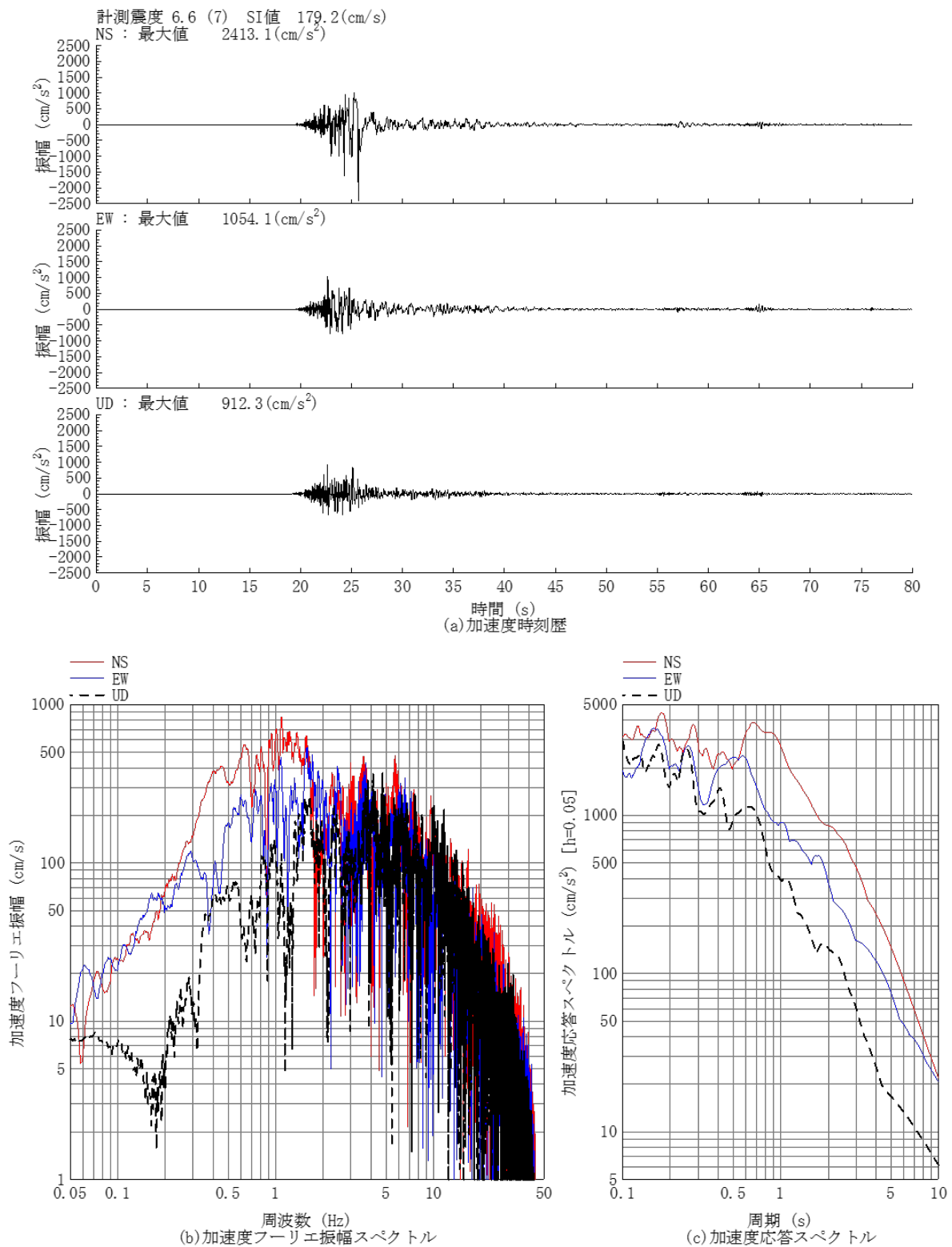


図3.1 令和8年熊本地震 ($M_j 7.1$) による宇城市豊野町 (93025) ^[14] での強震記録

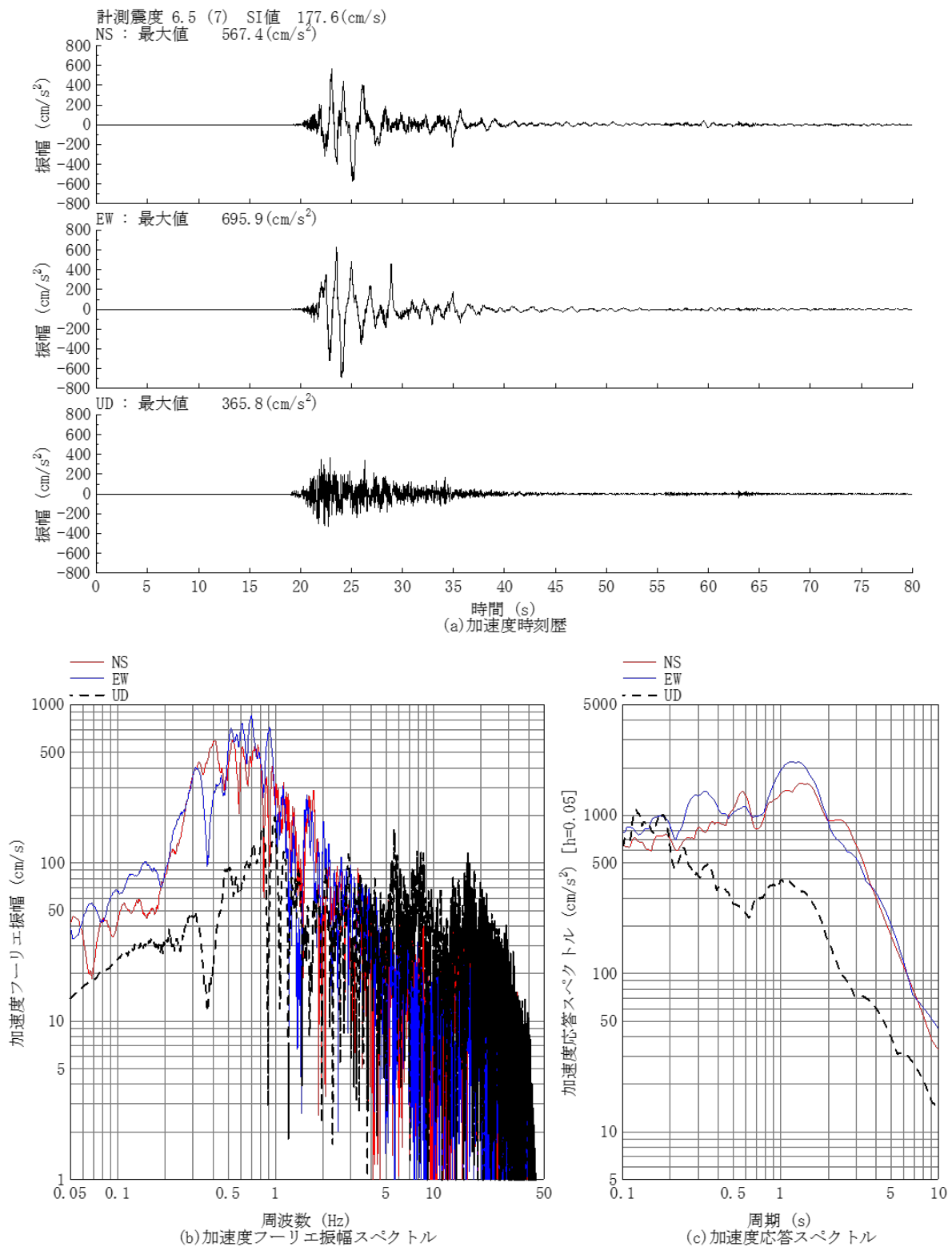


図3.2 令和8年熊本地震(M_j7.1)による氷川町島地(93057)^[14]での強震記録

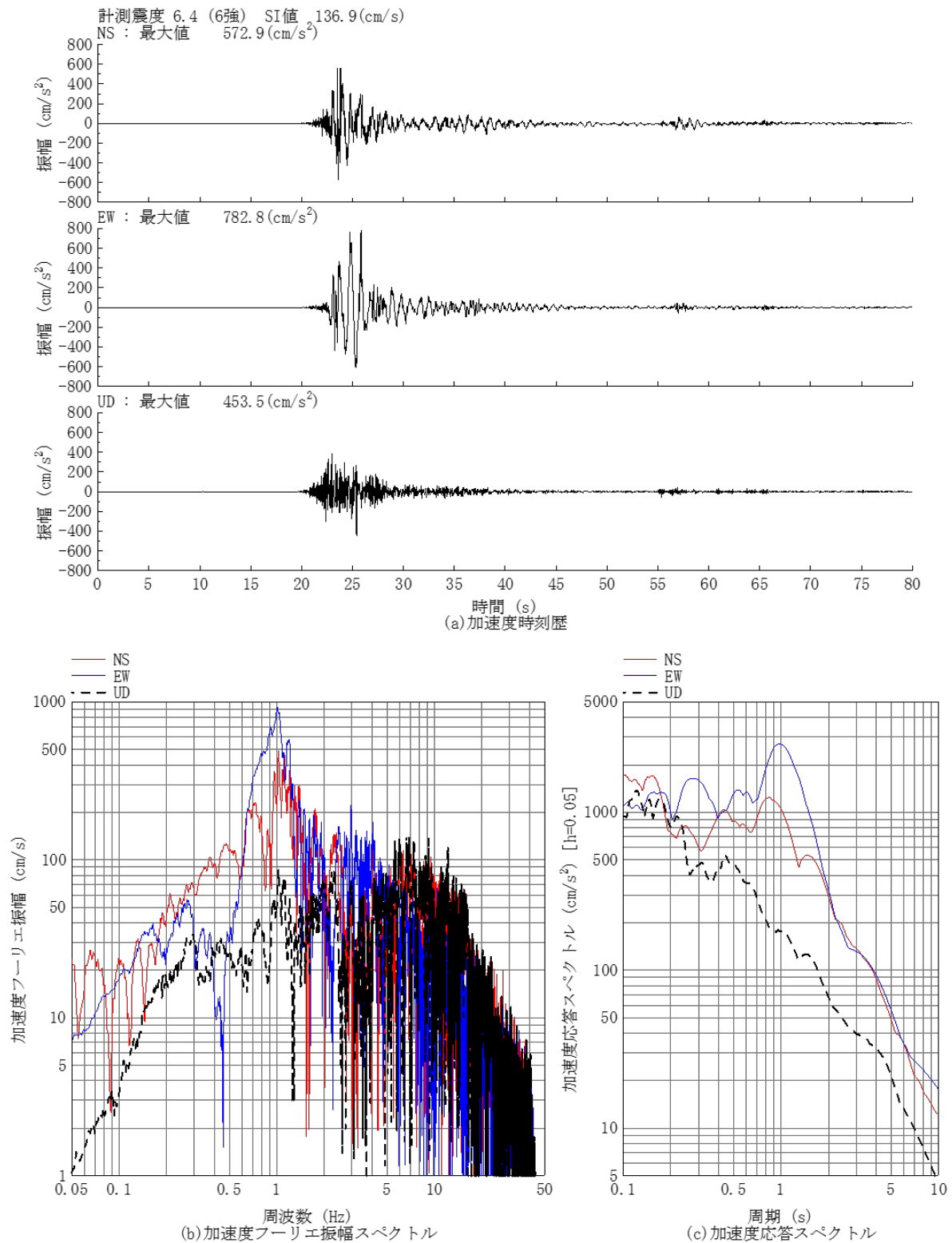


図3.3 令和8年熊本地震(M_J7.1)による熊本美里町馬場(93026)^[14]での強震記録

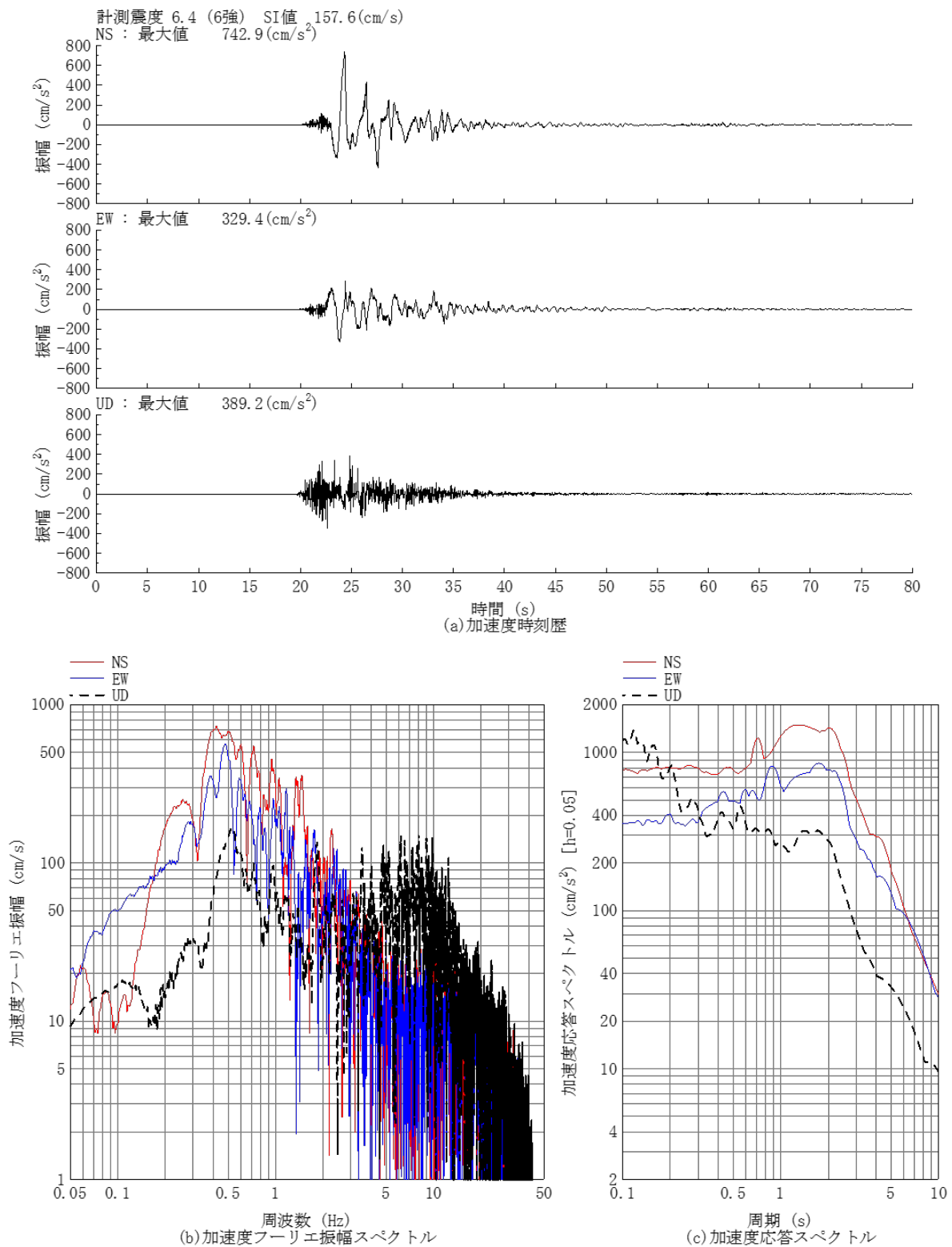


図3.4 令和8年熊本地震 (M_j7.1) による八代市千丁町 (93055) ^[14] での強震記録

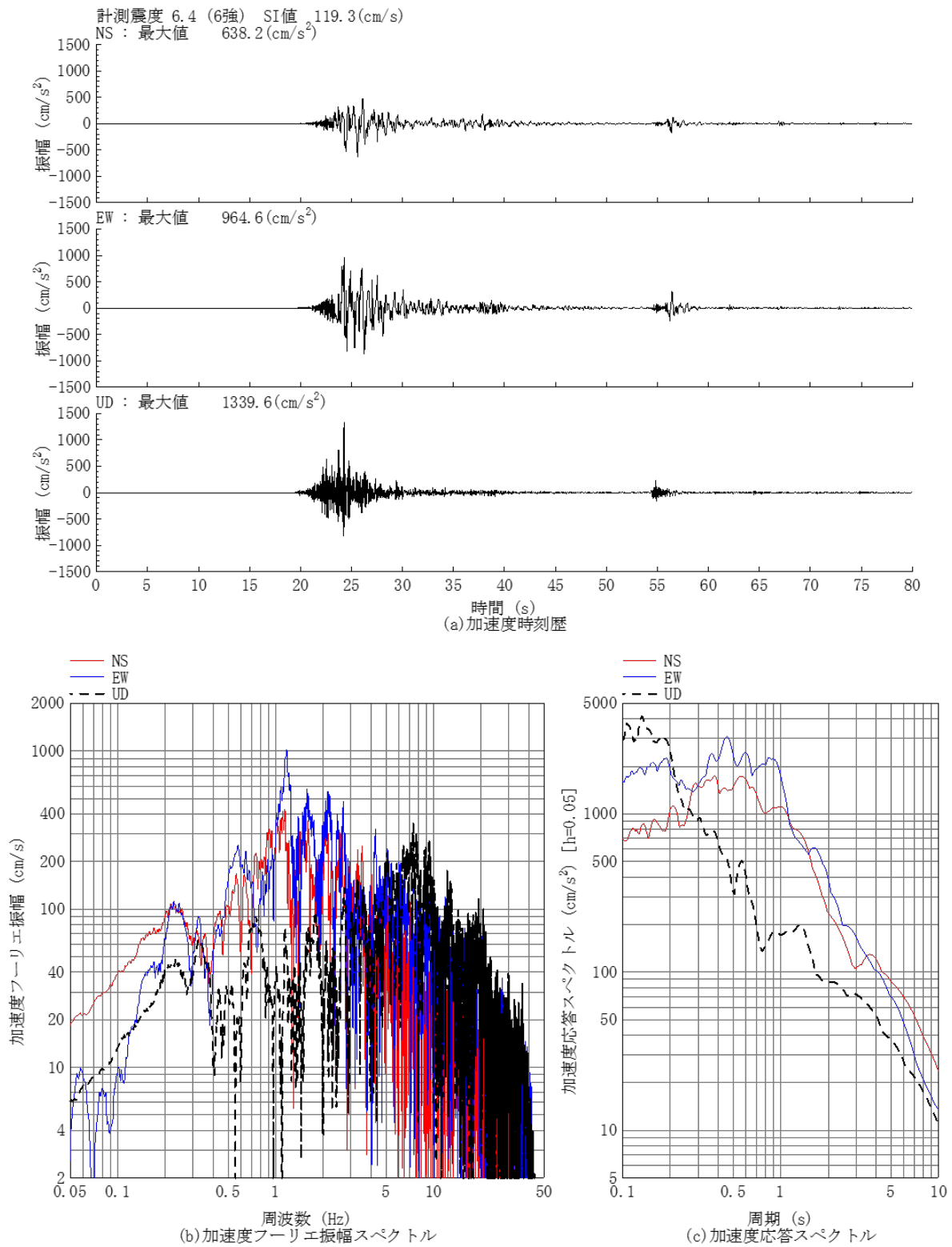
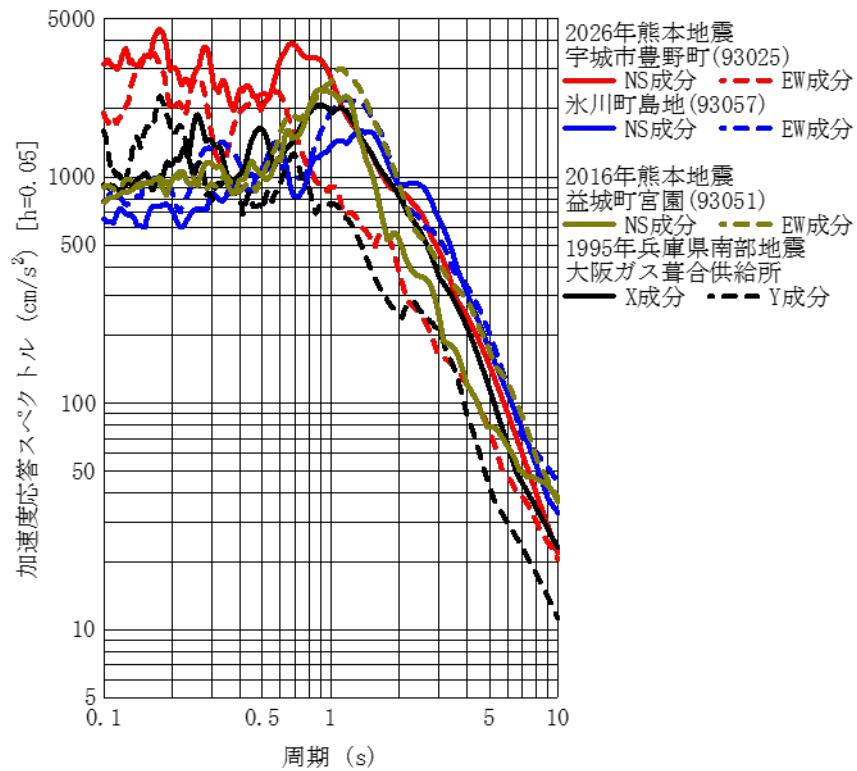
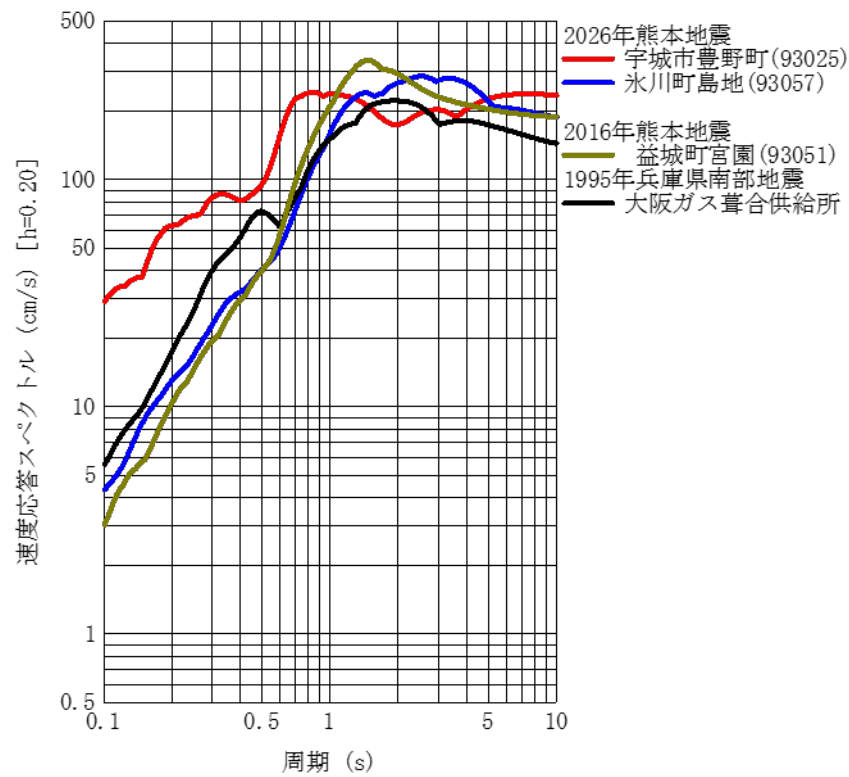


図3.5 令和8年熊本地震(M_J7.1)による熊本南区城南町(93021)^[14]での強震記録



(1) 加速度応答スペクトル(減衰5%)



(2) 速度応答スペクトル(減衰20%)(SI値が最大となる方向)

図4.1 過去の被害地震での代表的な強震記録^{[14][17]}との応答スペクトルの比較

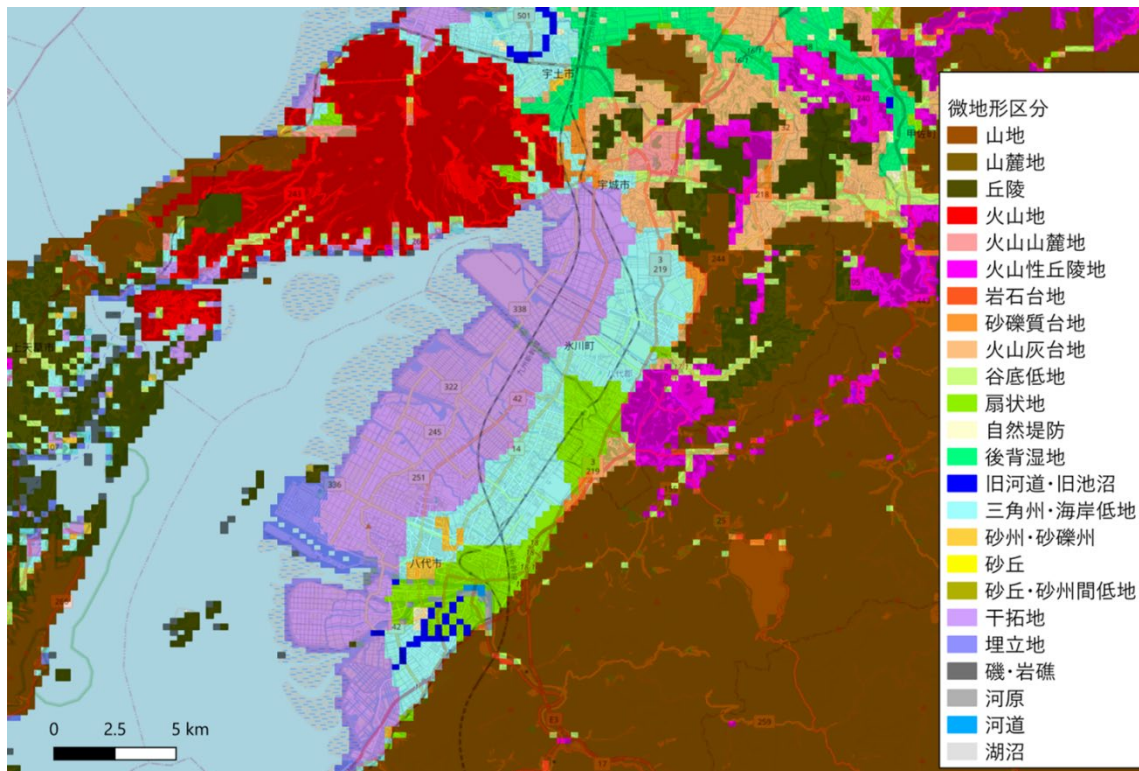


図5.1 微地形区分（J-SHIS^[19]のv4）

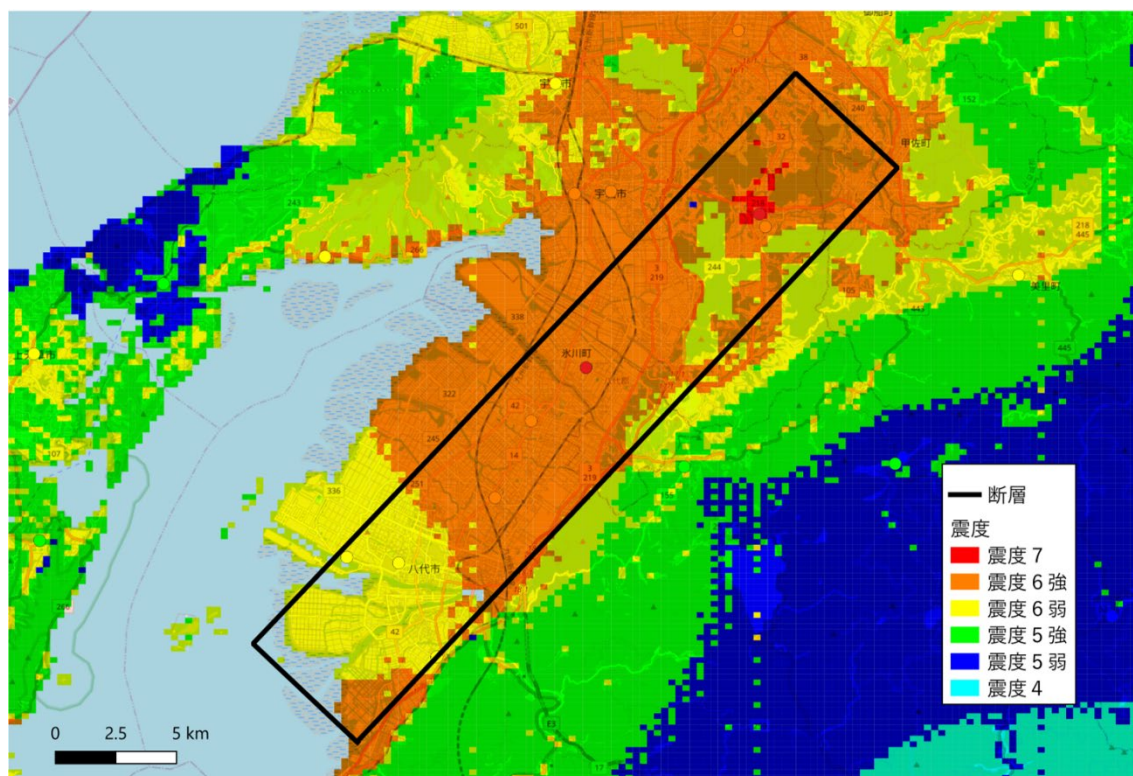


図5.2 推定した震度分布

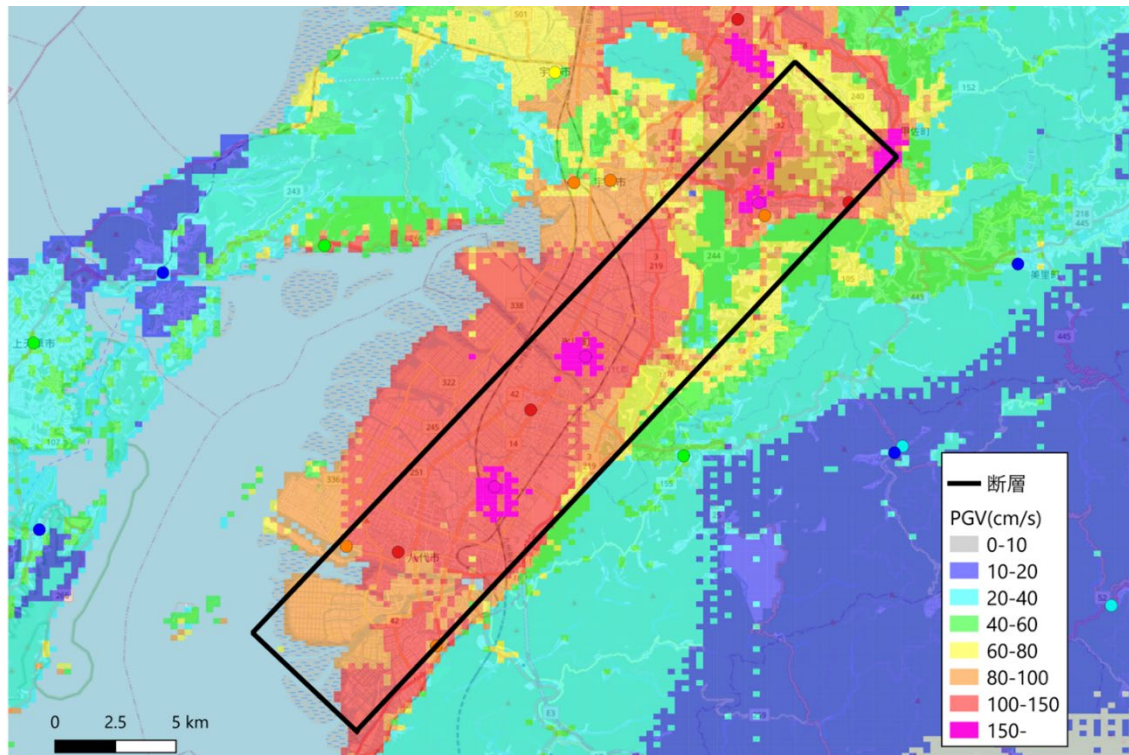


図5.3 推定した最大速度 (PGV) 分布

参考文献

- [1] 気象庁地震火山部： 令和8年7月28日16時27分頃の熊本県熊本地方の地震について，2026.
<https://www.jma.go.jp/jma/press/2607/28a/202607281730.html>
<https://www.jma.go.jp/jma/press/2607/28a/kaisetsu202607281730.pdf>
- [2] 気象庁地震火山部： 令和8年7月28日16時27分頃の熊本県熊本地方の地震について (第2報)，2026.
<https://www.jma.go.jp/jma/press/2607/28b/202607281915.html>
<https://www.jma.go.jp/jma/press/2607/28b/kaisetsu202607281915.pdf>
- [3] 気象庁： 「令和8年熊本地震」について (第3報)，2026.
<https://www.jma.go.jp/jma/press/2607/28d/202607282030.html>
<https://www.jma.go.jp/jma/press/2607/28d/kaisetsu202607282030.pdf>
- [4] 消防庁災害対策本部： 令和8年熊本地震による被害及び消防機関等の対応状況 (第47報)，2026.
<https://www.fdma.go.jp/disaster/info/items/20260728kumamotojishin47.pdf>
- [5] 国土交通省： 令和8年熊本地震による被害状況等について (第35報)，2026.
https://www.mlit.go.jp/saigai/saigai_260728.html
<https://www.mlit.go.jp/common/002016079.pdf>
- [6] 国土地理院： 令和8年熊本地震 (7月28日 M7.1) の震源断層モデル (暫定)，2026.
https://www.gsi.go.jp/cais/topic20260728_kumamoto.html
<https://www.gsi.go.jp/common/000279729.pdf>

- [7] 柴田律也, 久保久彦, 鈴木亘, 青井真, 関口春子: 令和8年熊本地震の震源インバージョン解析, (国研)防災科学技術研究所ウェブサイト
(https://www.kyoshin.bosai.go.jp/ja/inversion/kumamoto_20260728/inversion/)
- [8] 地震調査研究推進本部地震調査委員会: 布田川断層帯・日奈久断層帯の評価(一部改訂), 2013.
(https://www.jishin.go.jp/main/chousa/katsudansou_pdf/93_futagawa_hinagu_2.pdf)
- [9] 地震調査研究推進本部地震調査委員会: 令和8年熊本地震の評価, 2026.
(https://www.static.jishin.go.jp/resource/monthly/2026/20260728_kumamoto_1.pdf)
- [10] 地震調査研究推進本部地震調査委員会: 主要活断層帯の長期評価の概要(算定基準日令和8年(2026年)1月1日), 2026.
(https://www.jishin.go.jp/evaluation/long_term_evaluation/lte_summary/)
(https://www.jishin.go.jp/main/choukihyoka/ichiran_pref.pdf)
- [11] 気象庁: 震度データベース検索
(<https://www.data.jma.go.jp/eqdb/data/shindo/>) [2026年8月6日閲覧]
- [12] (国研)防災科学技術研究所: 強震観測網K-NET・KiK-net
(<https://www.kyoshin.bosai.go.jp/ja/>)
- [13] 気象庁: 長周期地震動の観測結果
(<https://www.data.jma.go.jp/eew/data/ltpgm/event.php?eventId=20260728162718>)
- [14] 気象庁: 強震観測データ
(<https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/kyoshin/jishin/index.html>)
- [15] 国土交通省港湾局: 港湾地域強震観測
(<https://www.mlit.go.jp/kowan/kyosin/eq.htm>)
- [16] 野津厚, 長尾毅: スペクトルインバージョンに基づく全国の港湾等の強震観測地点におけるサイト増幅特性, 港湾空港技術研究所資料, No. 1112, 56p, 2005.
(<https://www.pari.go.jp/PDF/no1112.pdf>)
- [17] (財)震災予防協会: 強震動アレー観測Vol. 3, 1998.
- [18] (国研)防災科学技術研究所: 地震ハザードステーション(J-SHIS)
(<https://www.j-shis.bosai.go.jp/>)
- [19] 末富岩雄, 塚本博之, 福島康宏, 尾茂淳平, 大保直人: 近年の被害地震における表層地盤のAVS30と震度分布評価に関する一検討, 第37回地震工学研究発表会, 2017.
- [20] 司宏俊, 翠川三郎: 断層タイプ及び地盤条件を考慮した最大加速度・最大速度の距離減衰式, 日本建築学会構造系論文集, 第523号, pp. 63-70, 1999.